

バス路線に係る地域別部会における主な検討事項整理表

資料 5 - 1

	検討項目	主に関係する拠点		関係機関（県除く）	検討すべき課題	対応の方向性（案）
統合、減便	1 中野木島線と野沢線の統合、減便	交通結節点	飯山駅、信州中野駅、木島平村役場、中央バスターミナル	中野市、飯山市、木島平村、野沢温泉村、長電バス、のざわ温泉交通	R8.10に統合、減便予定。 通院、通学に影響が出ないよう路線、ダイヤを検討する必要がある。	統合後の中野木島野沢線について、変更後のダイヤで影響を受ける通学の移動について利用実態も踏まえ、必要な品質が保証されるようダイヤ、 <b>路線を調整</b> 以下の方法により関係者で対応を検討 ①中野木島野沢線のダイヤ案を調整 ②品質が保証されない時間帯を別路線で補う。
		通院	北信総合病院、飯山赤十字病院			
		通学	飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校			
		観光	野沢温泉			
重複	1 現在の野沢線区間と野沢温泉ライナー、中野木島線、木島平シャトル便の重複	交通結節点	飯山駅、信州中野駅、木島平村役場、中央バスターミナル	中野市、飯山市、木島平村、野沢温泉村、長電バス、のざわ温泉交通	野沢線とライナーは起点と終点が同一。 野沢線と中野木島線は飯山駅-木島間で路線が重複 野沢線と木島平シャトル便は木島平-飯山間を繋ぐ手段として路線を確認	<b>野沢線は中野木島線と統合することにより、飯山駅から木島までの区間の重複を解消し、中野市、飯山市、木島平村、野沢温泉村と沿線の地域拠点を繋ぐ生活路線として最適なダイヤを検討</b> <b>野沢温泉ライナーと木島平シャトル便については一部の便については生活路線の空白時間帯を補完する位置づけで整理</b>
		通院	北信総合病院、飯山赤十字病院			
		通学	飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校			
		観光	戸狩温泉、野沢温泉			
	2 中野木島線と合庁線の重複	交通結節点	飯山駅、信州中野駅	中野市、飯山市、長電バス	どちらも圏域拠点である飯山駅と信州中野駅を結ぶ路線であり、重複していないか検討する必要がある。	<b>両路線ともに存続</b> <理由> ・大半の区間で経路が大きく異なる。 ・一部の便を除き、異なるダイヤで運行されており、お互い補完しあうことでサービスの品質が確保され、利便性の向上に寄与 ・どちらかの路線を廃止した場合、交通空白が生じるおそれ
		通院	北信総合病院、飯山赤十字病院			
		通学	飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山養護学校			
		観光	湯田中温泉、渋温泉、野猿公園			
	3 上林線と菅線、長野電鉄の重複	交通結節点	信州中野駅、湯田中駅	中野市、山ノ内町、長野電鉄、長電バス	現在信州中野-湯田中間の移動については、長野電鉄との関係も踏まえて上林線と菅線のあり方について検討が必要	<b>菅線は廃止する方向で検討</b> 上林線と一部同一区間を走っており、同じ役割を担っている。利用状況やコミュニティバスの走行状況等も踏まえ廃止する方向で検討 <b>【廃止に当たって検討が必要となる事項】</b> ・沿線住民の利便性の確保 <b>上林線は継続する方向で検討</b> ・長野電鉄と同じ圏域拠点と地域拠点を結んでいるが、経路は異なる。 ・買い物、通院等長野電鉄とは役割が異なる。 ・仮に上林線を廃止した場合でも、品質の保証は維持されるものの、沿線住民の利便性は著しく低下 ・代替路線として1路線を分割して各市町で運行すると、経費と人員体制が非効率となる可能性 ・菅線と同時廃止は住民の生活への影響が大きい。
		通院	北信総合病院			
		通学	中野立志館高校、中野西高校			
		観光	湯田中温泉、渋温泉、野猿公園			